

滝川市立地適正化計画（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について

1 滝川市立地適正化計画（素案）に係るパブリックコメントについて

件 名	滝川市立地適正化計画(素案)に係るパブリックコメントについて
募 集 期 間	令和4年 12 月2日(金)～令和4年 12 月 19 日(月)まで
募 集 場 所	3施設5カ所(市役所(1階・2階図書館入り口付近・4階)、江部乙支所、東滝川地区転作研修センター)+滝川市公式ホームページ
意見提出者数	4名
意 見 数	10 件

2 御意見の要旨と市の考え方

No.	御意見の要旨	御意見に対する市の考え方
1	娯楽・商業についての考えが少し甘い気がします。元々滝川は、周辺の炭鉱町の人が娯楽等をするために訪れてお金を落としていたまちです。市民目線ではなく、市外の人が訪れて楽しめるような施設を増やしていかない限り年々人が減少していくと思われます。	20 年後を見据えたまちづくり方針として、市民の暮らしを守っていく「滝川暮らしの質の向上」というウチ向きの視点と外から人や投資を呼び込んでくる「滝川に人を惹きつける魅力の創造」というソト向きの2つの視点が必要だと考えております。 市外向けアンケートの結果、滝川市に訪れる目的・行先は商業施設(国道 12 号バイパス周辺)や飲食店が多くの割合を占めています。今ある施設の撤退を防いだり、新たな投資(施設整備)を呼び込むためには、一定の人口密度を保つことも重要と考えられることから、誘導区域を設定し、居住を誘導していくことを目指しております。
2	夕張はすでにコンパクトシティ化していますが、現況いかがでしょうか。より悪い方向へ行っているように見えます。財政など異なる点も多くあると思いますが、仮にコンパクトシティにしたあと、その 10 年先どうなるのか、さらに検証が必要だと思います。	滝川市の現状を踏まえ、このまま人口減少の進行に対し、何も対策を講じなかった場合、生活利便性の低下など様々な悪影響が懸念されます。そのため、人口減少下においても持続可能で効率的なまちづくりを進めるためにも『コンパクト・プラス・ネットワーク』のまちづくりを目指す必要があると考えております。 コンパクトシティとなった後については、社会情勢等を踏まえ、その時々合わせた対応と将来を見据えた戦略が必要と考えておりますので、引き続き検討してまいります。

3	人口減少、少子高齢化が前提になっていますが、本当に真剣に人口増加(日本国民増加)に向けた取組を行ってきたと言えるでしょうか。明石市市長 泉 房穂さんがどんどん発信していますが、地方自治でもできることは多くあると思います。今、日本国民を増やすための施策、実効が必要です。少子化をあきらめることなく、増子化のモデルになるくらいの滝川市になってほしいと思います。	市の最上位計画である総合計画(策定作業中)に掲げる施策の一つにも、「子育て支援体制の充実」を予定しており、立地適正化計画においても屋内遊戯施設等の子育て世帯向け施設を誘導施設に位置付けるほか、誘導施策として子育て世帯の住宅取得の支援等、子育て環境の充実を図ることを盛り込んでおりますが、いただいたご意見をもとに、今後より具体的な方策を検討してまいります。
4	北海道へのサイレントインベーションが問題となっています。ほとんど大手メディアは報道しないため多くの方が知らないですが、調べればすぐ出てきます。『国防動員法』、『国家情報法』がある国からの土地買収問題、森林を破壊するメガソーラー問題への対策。スパイ防止法のない我が国は、国防の面からも外国人に土地を売るべきではないです。滝川をお守りください。未来の子どもたちのために。	いただいたご意見をもとに、市の施策として取り組めるものがあるかどうか検討してまいります。
5	文化センターの再築を強く願います。	新文化施設建設に向けては、現在議論を進めており、多くの方にとって使い勝手の良い施設となるよう、また、将来にわたり末永く愛される施設となるよう検討してまいります。
6	見通しが甘い気がする。人口減よりは災害時の高所避難場所に築年数が古い施設が含まれている等、本当に必要となった時に機能するのか疑問。	災害時の避難において高所避難は最終手段であり、早期な情報伝達と避難所への移動が最優先されることから、その対応強化が必要と考えております。
7	資料がぶ厚く、短時間で目を通せないうえ、内容を理解するのが困難と感じた。市民から広く意見を募るのであれば、パネル展示などもできたはずで、意見を求めるつもりはないかのような印象を受ける。スマホで見られるようにしてほしい。	短時間で目を通せるよう概要版の用意や、市民の皆様から広く意見を募るため素案を市公式HPにも掲載し、スマホでも見られるようにしておりましたが、お知らせする手法に工夫が足りなかったことから、今後、改善してまいります。

8	滝川の街区は明治開拓期に造られ、近隣市町に比べてコンパクトシティにしづらいのは歴史的に見ても変えようがないが、その事実縛られすぎて身動きが取れなくなっているのではないかというのは私感だが、もっと柔軟な未来像が欲しい。	交通網(国道・JR)の状況、江部乙・東滝川といった地理や歴史的背景において、ご指摘のとおりコンパクト化は容易ではありませんが、人口減少や少子高齢化に対応すべく、将来に向けて現在の生活環境を維持することが最優先であるものと考えております。 柔軟な未来像には駅舎の移転や防災面を考慮した坂の上への誘導等の意見が市民懇談会等でも寄せられ、複数案を作成し、可能性を検討しましたが、今後、人口減少や少子高齢化が進展する中で、現状インフラ整備されている街区を別の区域に移すことよりも、既存にあるものの再生や防災上の対応を図ることで持続可能な都市経営を目指したいとするものであります。
9	コンパクトシティ プラス ネットワークの考え方はその通りと思うし、そうなるのが理想です。そういう中で、今後 40 年先 50 年先も皆がよかったねと誰にでも誇れるぞ！という文化センターを作ってほしいです。文化度の高い住民は市(まち)を愛せる住民です。そういう人々を増やすと暮らしが優しくなります。子どもばかりでなく、あらゆる大人の心をも育てられる、演者だけでなく、観客側のマナーを学べる場としての多目的なホール利用も考えてホールを建設してください。	No.5同様
10	説明会は一度すれば OK では無いです。決まってから報告するのではなく、都度継続して市民との意見交換の場を持って欲しいです。	必要に応じて意見交換の場を持つよう努めてまいります。